

FISHING トピック No.2

山口県油谷青少年自然の家で FISHING

ながったつゆあも明け、いよいよなつほんばんとなりました。各地でさいこうきおんが更新され、今年ももうしょびつづきそうです。みなさんねちゅうしやうにならないようにきを付けて下さいね！！さて、らいねんと「MFC スペシャル」の下見へ山口県油谷青少年自然の家にスタッフ4名で出かけました。今回は施設の堤防から3種類の釣り方で油谷湾のさまざまなさかなをねらいました！まず1つ目は『サビキ釣り』仕掛けを投入すると豆アジがヒット！その後も、豆アジが入れ食い状態で鈴なりに釣れました。2つ目は『投げ釣り』仕掛けを投げて、アタリを待っているとコツコツとアタリが！上げてみるとシロギスのダブルヒット！投げるたびにアタリがあり、シロギスのほかにもこたいやネズミゴチを釣り上げることができました。最後3つ目は、近年人気が高い『メバリング』フグの猛攻に遭いながらもカサゴをGET！そして、なんと、なんとマハタの幼魚（赤ちゃん）も釣れました！！



マハタは浅場から深場まで広く暮らす日本を代表するハタです。小さい頃は磯場や堤防でも出会うことができますが、大きく成長するにつれて海の奥深くへ移動していってしまいます。普段は岩に身を潜めていてエサの小さなこうかくるいが現れるのを待っています。大きく成長しても体長50~60cmほどですが、稀に1m以上そして100キロを超えるものもいます。別名「カンナギ」と呼ばれ、釣り人憧れの魚として有名です。

釣りの下見を終え片付けをしている際、ふと堤防の淵を見ると長い棘を持つ「ガンガゼ」を発見！もし青少年自然の家の前の磯場で観察できるムラサキウニやバフンウニと違って毒があります。また、大量発生して海藻をたくさん食べてしまい漁場を荒らしてしまうこともあるため、人々から嫌われものとして扱われています。そんなガンガゼですが、実は食べることができるそうです。



※ウニは第一種共同漁業権の対象となっています。設定されている場所で、無断で獲ると漁業権の侵害になってしまい、

罪に問われることがあります。なので、見つけても観察するだけにしましょう！！

今回の油谷青少年自然の家の下見では、クーラーボックスいっぱい魚を釣ることができました。来年度の本番でも、きっと大量に釣れるはず！！当日が今から待ち遠しくてたまりません。